

平成28年度予算見積調書

課室名：医療整備課
 担当名：医師確保対策担当
 内線：3546

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B35	地域医療教育センター（仮称）準備・運営費			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	医師確保対策費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	なし				戦略項目	03	医療の安心
							分野施策	010303	医師・看護師確保対策の推進
<p>1 事業の概要</p> <p>さいたま新都心に建設される県立小児医療センター新病院に付加機能として地域医療教育センター（仮称）を設置・運営する。</p> <p>（1）地域医療教育センター（仮称）教育・研修用機器整備経費 54,735千円</p> <p>（2）地域医療教育センター（仮称）設置・運営経費 52,326千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>（1）事業内容</p> <p>ア 地域医療教育センター（仮称）教育・研修用機器整備経費 54,735千円 さいたま新都心に建設される県立小児医療センター新病院に付加機能として設置する地域医療教育センター（仮称）で、医師や看護師をはじめとする医療職向けの研修などを行うために必要なシミュレータの購入経費</p> <p>イ 地域医療教育センター（仮称）設置・運営経費 52,326千円 さいたま新都心に建設される県立小児医療センター新病院に付加機能として地域医療教育センター（仮称）を設置し、医師や看護師をはじめとする医療職向けの研修などを行うために必要な各種運営経費や、小児医療センターが一括契約する水道光熱費や各種委託契約に対する負担金</p> <p>（2）事業計画</p> <p>平成28年度 事務用備品や主に小児医療に関するシミュレータの購入。地域医療教育センター（仮称）オープン 平成29年度 小児医療等に関する研修会を、小児医療センター新病院及びさいたま赤十字病院を中心に順次開始。救急、地域医療、在宅医療等に関するシミュレータの購入。 平成30年度 センター統括医師着任。小児医療、救急、地域医療、在宅医療等に関する研修会の本格実施。</p> <p>（3）事業効果</p> <p>シミュレーション機器を活用した医療技術の研修等を行うことで、県内の医療人材の医療技術が向上すると共に、研修体制を充実させることで医師の県内誘導が進み、医師の確保が図られる。</p> <p>（4）その他</p> <p>ア 県立小児医療センター新病院の8階に設置。専有面積約1,426㎡ イ 医師、看護師をはじめとする医療職全般に対する研修機会実施のため、シミュレーション機器を備えた研修室や診察シミュレーション室などを設置する。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>（1）（県10/10）</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×2人=19,000千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額		諸収入	県債					一般財源	前年との対比
決定額	107,061	434	34,000					72,627	107,061
前年額									